

# ビデオ シャーナル

# **THE VIDEO JOURNAL**

昭和43年5月30日第3種郵便物認可 振替口座 東京102158 定額一部150円 年間3,600円

## アメリカのビデオ作家たちの活動



カメラをのぞくビデオ・フリー・アメリカの代表アーチー  
・ギンズバーグ氏(左)とビデオひろばの代表!!

入場料が主な  
活動の財源に

の活動は日本では余りません。この機会にございたい。

毎週ビ

アーサー・

ビデオジャーナル  
THE VIDEO JOURNAL

全国大会特集号

EMBASSY OF THE  
UNITED STATES OF AMERICA  
Tokyo, Japan

August 29, 1972

谷1の2の4  
ル事業部まで  
す)

The seal of the Commonwealth of Massachusetts, featuring an eagle perched on a shield, holding an olive branch and arrows.

U.S. INFORMATION SERVICE  
Mr. Arthur Ginsberg  
c/o Jackie Cassan  
727 6th Avenue  
New York, New York  
Dear Mr. Ginsberg

Dear Mr. Ginsberg:  
We are delighted  
participate in the  
Tokyo American C

10039  
Jackie Cass  
6th Avenue  
New York  
Ginsberg:

「ハードウェアの使用法も教える」とは、必ずしも「商業放送局」とばかりがしている。商業放送局のステーションであり、室であると想っている。私たちもテレビは商業放送局にまかせず、

——日本のビデオ作家活動は力  
ナダの映像作家マイク・ゴーリー  
パーク氏が来日、本紙などで呼び  
かけたことなどがきかれて知ら  
れるようになつたが、こうした運  
動や、ビデオウイークについて感  
じたことを聞かせてほしい。

日本では一流的芸術家たちに  
よつて、ビデオの運動が行なわ  
れていることを聞いて、意を強  
くした。過去において映画や環境

進形なたの芸術活動をへてきたり。それも若い人でほんないのだ。“ られる作品”としての顧観が深し非常によくきこてる。自らの作品紹介がいそがしく、ゆりみなさんの作品を見る眼がなが、大部分予想が適中していると喜んでいる。

——本紙はハードウエアの音について専論してきたが、あなたからみた日本のVTRは、いか

がだ及 のいく分けみ人

まつたく同感である。アメリカも同じで、企業家である。余りに急いでいるから、VTRの専門家である。何年もたたないと普通よく知っている。

。ハ。十  
。出

ところが、この  
辯論はア 法違反とかいか  
に責任が 風に業者との比  
し過ぎた 宮井試闘氏は進行  
は、また た。このハブニ  
ないこと はピアオ・ショ  
て五年、 つきらをほくした  
ようと尋 いかばよしなフ  
ードも、 に差し出しつづけ  
年の間に オ・メーカーの人の  
版商業に れも結構でした

Dear Mr. [redacted]  
We are delighted that you  
participate in the Video Fair at  
Tokyo American Center from October 1 to [redacted].  
  
The Video Fair is being cosponsored by the Tokyo  
American Center and Video Plaza, a group of top  
Japanese creative artists from various fields who  
organized last spring to explore the creative and  
pragmatic uses of video. We are hoping to get most  
of the equipment for the fair on loan from Akai and  
Sony. The actual schedule for the fair is to have  
an opening on the 8th (Sunday), and a video event in downtown  
Tokyo on the 5th, hold a marathon six-hour  
symposium on the 12th. During the other days there  
will be four kinds of activities going on more or  
less at the same time in different parts of our hall:  
video events, scheduled showing of video materials  
(half Japanese and half U.S., about 20 hours of each)  
open access viewing, and "free use" showings. You  
will be involved mainly in the use of the scheduled showings,  
and will also hopefully be able to join in some of  
the events.